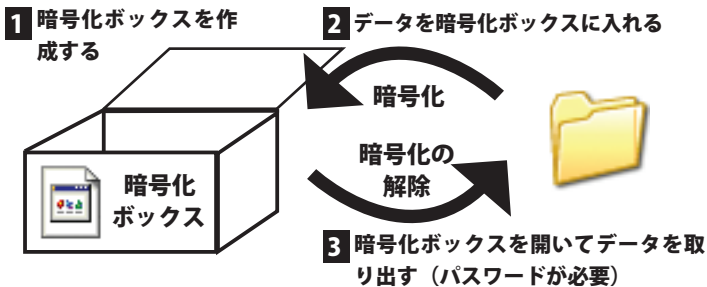
SecureLockMobile で暗号化しよう

35005861-02

「SecureLockMobile」は、USB フラッシュメモリから起動します。当社ホームページ (http://buffalo.jp/download/driver/index_seihin_r.html) から SecureLockMobile のインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください（CD が付属している製品の場合は、CD からもインストールを行えます)。SecureLockMobile は USB フラッシュメモリにインストールされるため、パソコンにインストールすることなくお使いいただけます。そのため、出張先やお友達のパソコンなどで使用する場合も、パソコンの環境を変更せず使用できます。

暗号化の概要

まず、暗号化ボックスを作成します。暗号化ボックスとは「SecureLockMobile」でしか開けないファイルで、この中に暗号化するデータを保存します。
暗号化ボックスを作成したら、データを暗号化ボックスに移動（コピー）して SecureLockMobile を終了します。これで暗号化は完了です。暗号化ボックスは SecureLockMobile でパスワードを入力しないと開けませんので、他の人にデータを閲覧されることを防止できます。

パソコンではどう見える？

暗号化ボックスは、左のように表示されます。
暗号化ボックスを開くには、パスワードが必要となります。

1 暗号化ボックスを作成する

データを収録する暗号化ボックスを作成します。

⚠注意
- **暗号化ボックス作成時にお客様が容量を指定します。指定した容量を超えるデータ（総容量）は入れられませんのでご注意ください。**
- **一度作成した暗号化ボックスの容量は変更できません。ご注意ください。**
- **作成済みの暗号化ボックスがあるかないかによって手順が異なります。既に作成済みの暗号化ボックスがある場合は、「別の暗号化ボックスを作成する場合」を参照してください。**

初めて暗号化ボックスを作成する場合

1 **USB フラッシュメモリ内の （slm.exe）をダブルクリックします。**
「slm.exe」がない場合は、SecureLockMobile をインストールしてください。

2 **「暗号化ボックスを作成します」と表示されたら、[次へ] をクリックします。**

3

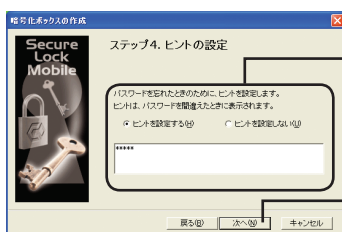
①**暗号化ボックスの名前を入力します。**
② **［次へ］をクリックします。**

4

①**ゲージを動かし暗号化ボックスの容量を指定します。**
②**暗号化強度を選択します。**
③ **［次へ］をクリックします。**

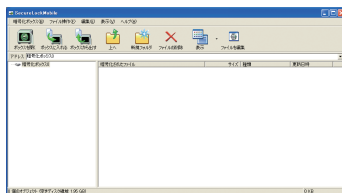
5

①**パスワードを 2 箇所入力します（1 ～ 63 文字の半角英数字)。**
② **［次へ］をクリックします。**

6

①**パスワードのヒントを設定します。**
② **［次へ］をクリックします。**

7 **「暗号化ボックスを作成します。よろしいですか？」と表示されたら、［OK］をクリックします。**

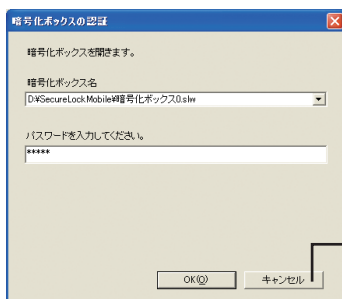
⚠注意 1GB の暗号化ボックスを作成するのに約 40 秒（USB1.1 接続の時は約 20 分）かかります。手順 8 の画面が表示されるまで SecureLockMobile を終了しないでください。

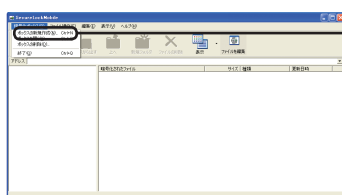
8 **暗号化ボックスが作成され、以下の画面が表示されます。**

以上で暗号化ボックスの作成は完了です。続いてデータを暗号化しましょう。「データを暗号化ボックスに入れる」を参照してください。

別の暗号化ボックスを作成する場合

作成済みの暗号化ボックスとは別の暗号化ボックスを作成するときは、以下の手順で行ってください。

1 **USB フラッシュメモリ内の （slm.exe）をダブルクリックします。**
「slm.exe」がない場合は、SecureLockMobile をインストールしてください。

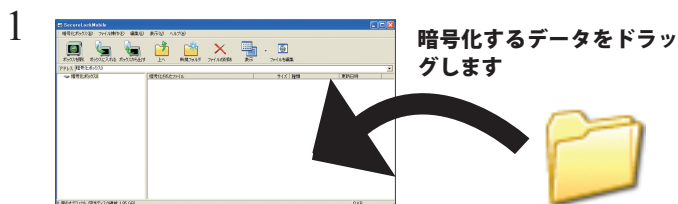
2

［キャンセル］をクリックします。

3

［暗号化ボックス］－［ボックスの新規作成］をクリックします。

4 **以降は「初めて暗号化ボックスを作成する場合」の手順 2 以降の手順を行ってください。**

2 データを暗号化ボックスに入れる

暗号化したいデータを、SecureLockMobile の画面にドラッグすると、データが暗号化ボックスに収録されます。暗号化ボックスに収録されたデータは、暗号化されて他の人が見ることができなくなります。

1

⚠注意 1GB のファイルを暗号化するのに約 20 分（USB1.1 接続のときは約 70 分）かかります。暗号化しているときはパソコンに大きな負荷がかかっていますので、パソコンの操作をしないでください。

2 **画面右上の［×］をクリックして画面を閉じます。**

以上で、暗号化ボックスにデータを入れる作業は完了です。

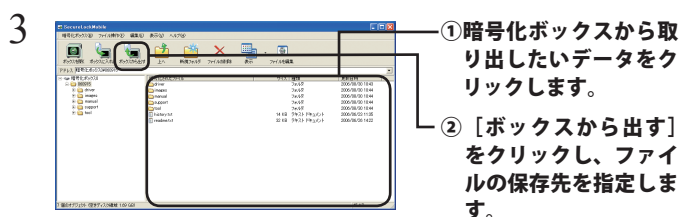
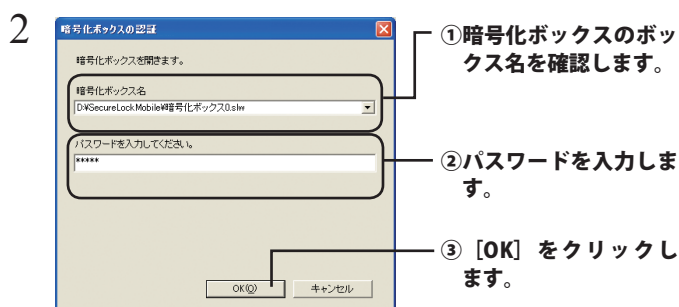
3 暗号化ボックスを開いてデータを取り出す

暗号化ボックスを開いてデータを取り出すときは、以下の手順で行ってください。

1 **USB フラッシュメモリ内の （slm.exe）をダブルクリックします。**

「slm.exe」がない場合は、SecureLockMobile をインストールしてください。

2

3

削除したいデータを選択してから［ファイルの削除］をクリックすると、暗号化ボックス内のデータを削除できます。

4 **「暗号化ボックスから、ファイルを取り出します。」と表示されたら、[OK] をクリックします。**

以上で完了です。暗号化が解除されたデータがパソコンにコピーされます。

暗号化ボックス内でファイルを編集するには？

手順 3 の画面で編集したいファイルをダブルクリックすると、ファイルを編集することができます。初めてファイルをダブルクリックしたときに「ファイルの編集を許可する場合は、OK をクリックしてください」と画面が表示されますので、[OK] をクリックしてください。

⚠注意
- **ファイルを保存するときは、必ず「上書き保存」してください。「名前を付けて保存」をすると、暗号化ボックス内に保存できません。**
- **「LZH」ファイルと「ZIP」ファイルは編集できません。**
- **一度に複数のファイルを開くアプリケーションには対応しておりません。**
- **同時に 11 ファイル以上開くことはできません。**

暗号化ボックスを削除するときは

暗号化ボックスを削除する場合は、[暗号化ボックス] ー [ボックスの削除] を選択し、削除するボックスを選択します。

（slm.exe）を削除したときは

USB フラッシュメモリ内の （slm.exe）を削除した場合、SecureLockMobile を起動できません。当社ホームページ（http://buffalo.jp/download/driver/index_seihin_r.html）から、SecureLcokMobile をダウンロードしてください（CD が付属している製品の場合は、CD からインストールすることもできます）。

制限事項

- **SecureLockMobile を使用中に本製品を取り外さないでください。** SecureLockMobile が正常に動作しないことや、本製品に保存したデータが破損・消失する恐れがあります。本製品を取り外すときは、必ず SecureLockMobile を終了してください。
- **4GB 以上の暗号化ボックスを作成した場合、暗号化ボックスを 4GB ごとのファイルに分割して保存します。分割したファイル名は、「(ファイル名) .***」となります（「***」は数字）。分割されたファイルを 1 つでも削除した場合は、暗号化ボックスを開けなくなります。**
- **4GB 以上のファイルは、暗号化ボックスに入れることができません（暗号化できません）。**